

新図書館について知りたい！

新図書館準備室だより No.1

み・りん

「み・りん」とは「みんなとリンク」の略で、みんながつながっていくという願いがこめられています



イメージキャラクター
すみれちゃん

図書館イメージキャラクターの「すみれちゃん」です。市立小諸図書館が平成25年度（予定）に新しくなることを皆さんご存じですか？

新しい図書館の建設に向け、皆さんと共に歩んでいくために、これからシリーズで情報をお届けしていきます。まずは、今までのあゆみをご紹介します。

■はじめの一步

新しい図書館の建設に向けて、平成20年11月に新図書館準備室が設置されました。市役所の都市計画課、図書館と

共に、市民や利用者の皆さんとの協働（市民参加）により、建設計画を進めています。

■建設準備委員会

平成20年12月、各団体からの代表者によって構成された、小諸市駅舎併設複合交流センター建設準備委員会の第1回の会議が開催されました。

準備委員会は全8回開催され、市民、団体、利用者の意見や希望の収集と検討、これからの図書館像の研究、他所例の研究、複合交流センターの性格付け、役割、活動イメージに関する協議を行ってきました。

こうした協議を踏まえて、図書館を核とした複合交流センターの建設に向けての答申が今年8月に出されました（*1）。



■ワークショップ

新図書館準備室では、学びと交流の場となる図書館を皆さんといっしょにつくっていくために、1月14日から2月11日までの昼夜計7回、「すてきな図書館をつくろう！ワークショップ」を開催しました。

このワークショップには、延べ約170人の方にご参加いただきました。

ワークショップとは、「仕事場」などの意味があり、参加者が自主的に活動する講習会のことです。参加者同士がお互いの考えを受け入れながら話し合うことで、思いがけないアイデアや気づきが生まれやすいことが特徴です。



参加者の皆さんは、まず現在の図書館の現状を見つめ直した後に、理想の図書館像を話し合い、その上で新図書館に求める意見を占数づけし、優先順位をまとめました。

その結果、一番多かった意見は「バリアフリー化された図書館」、2位は「充実したスタッフサービス」以下「利用しやすい駐車場」「飲食できるスペース」「多目的に利用できる」「緑あふれる図書館」「本が選びやすい」「他図書館や学校図書館とのネットワーク化」「エコロジーな図書館」など、どれも大切な意見が多数あげられました（*2）。

■ワークショップ視察①

1月31日、駅に隣接する図書館の施設や運営などを実際に見学することで、今後のワークショップを充実させる魅力ある図書館建設を目指すため、ワークショップ参加者を対象とした視察研修を開催しました。

訪れた図書館は、いずれも駅に隣接している、茅野市立図書館市民館と富士見町立図書館です。

生涯学習の盛んな茅野市の取り組みや貸出冊数11年連続日本1位（同規模自治体内）の富士見町の運営方法などは参加者の皆さんにとっても貴重な経験になりました。



■建設ワークショップ

新図書館建設に向け、具体的な施設面などについて、みんなで話し合い、また、1月と2月に開催したワークショップの意見をより具体的に、複合交流センターの基本設計に生かしていくため、8月28日から昼夜計6回の「新図書館建設ワークショップ」が開催されました。

1回目は、具体的に建物の

どの場所にどんなスペースがあったらよいかを、皆さんとじっくり考えました。

9月11日の第2回は、設計会社のジェイアール東日本建築設計事務所の担当者の方に、建物模型やイメージ写真を見せていただき、施設の立体的なイメージを膨らませました。

また、交流センター全体の配置を考えるなかで、中2階スペースの提案も出され、参加者の期待感も広がりました。

9月25日に行われた3回目は、新図書館の開館時間、休館日などの運営について話し合いました。参加者の皆さんに利用者、経営者、職員のグループに分かれていただき、それぞれの立場だったらどう運営するかを違った視点で考えました。

新図書館準備室では今後もワークショップを定期的開催し、皆さんとの話し合いの場を設けていく予定です。

こうした話し合いの機会は施設の建設が完成するまでにとどまらず、その後もずっと図書館の運営について皆さんと共に話し合い、協働していくことで、「私たちの図書館」という想いをみんなで共有していきたいと思っています。



ワークショップは誰でも気軽に参加してネ!

■ワークショップ視察②

9月14日、ワークショップに参加している皆さんをはじめとした23人で、オープンしたばかりの小布施町立図書館「まちとよテラソ」と安曇野市穂高交流学習センター「みらい」内にある安曇野中

央図書館を視察に行きました。「まちとよテラソ」では、公募で選ばれた花井裕一郎館長の「みんなが集う図書館づくり」のお話しには、共感する参加者が多く見受けられました。安曇野中央図書館では、広いガラス窓から外が見える、ゆったりとしたブラウジングコーナー（くつろぎながら雑誌や新聞を読むことができるスペース）や、ICタグ（無線自動認識タグ。複数貸出等が可能）を導入した貸出システムを視察しました。

参加者一人ひとりが新図書館への夢を馳せた一日となりました。

■他館からの学び

新図書館準備室では、新図書館の建設に向け、県内外の先進的な図書館への視察を行い、使いやすい建物のレイアウトや運営・サービス面などについて学んでいます。

このように単なる本の貸し借りだけにとどまらない他図書館の取り組みについても、今後、皆さんにご紹介していきたいと思っています。



■みんなのつながり

小諸図書館を考える会や図書館運営ボランティアの皆さん、学校図書館司書部会など多くの皆さんとの意見交換や話し合いを持ち、これからの向けたネットワークづくりにも取り組んできました。

こうした、人と人とのつながりは、今だけでのつながりではなく、新図書館ができてからも、そのつながりを強めていき、図書館運営のエネルギーになっていくことを願っています。

建設ワークショップのお知らせ

11月25日(水)
昼の部 午後1時30分～3時
夜の部 午後7時～8時30分
場所：小諸図書館2階 会議室
ゴスべるん♪こもろ との

スペシャルコラボ!

午後6時15分から図書館でコンサートをを行います。皆さんお越しください。



- *1：小諸市ホームページ>暮らしの情報>住宅・道路・都市計画>都市計画>まちづくり交付金>駅舎併設複合交流センター建設準備委員会>ダウンロード
- *2：小諸市ホームページ>暮らしの情報>教育・文化・スポーツ>新図書館準備室>新図書館ワークショップ第4回>ダウンロード

▼問い合わせ先

新図書館準備室

(内線367)